

繊維技術セミナーのご案内

(平成28年度日本繊維機械学会記念講演会)

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター
(一社) 日本繊維機械学会東海支部
(公財) 一宮地場産業ファッションデザインセンター
愛知県繊維振興協会

繊維業界の皆様を対象に地域の発展を図るため、セミナーを開催します。ぜひ、ご参加ください。

とき 2016 **7/8 (金)** 13:30~16:00

会場 公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター 4階視聴覚室

受講料：無料

「バイオポリウレタンを用いた天然繊維強化樹脂 (NFRP) の開発」 13:30~13:45

講師：あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 技師 伊東 寛明

内容：天然繊維と植物系樹脂からつくられる NFRP は、地球環境に優しい、非石油系由来である、燃焼残渣が残らないなどの利点があります。しかし、通常の NFRP は、高温条件で成形されており、天然繊維が熱劣化するという問題を抱えています。そこで、本研究ではバイオポリウレタンを低温条件で NFRP 化する手法を開発し、作製した NFRP の機械的特性や耐久性について評価しましたのでご紹介します。

「衣料用途の機能性繊維の開発」

13:45~14:45

講師：倉敷紡績株式会社 技術部 部長 付 勝圓 進 氏

内容：一般消費者の衣料に対する志向は、第一にファッション性があげられますが、機能性については「安心」「快適」「清潔」が技術のトレンドと言われています。クラブウでもこれらをキーワードとして、防災素材「BREVANO、EBRIQ-防災」、抗菌・抗ウイルス加工素材「CLEANSE」、生体を模倣した中わた「AIRFLAKE」を重点戦略商品と位置付けて開発を進めています。ここでは、実用化された製品についてご紹介します。

「衣環境に関する数値解析と感性評価」

15:00~16:00

講師：信州大学 繊維学部 准教授 堀場 洋輔 氏

内容：衣服の快適性(着心地)は、衣服圧、衣服内気候、風合いなどの衣環境と密接に関連していることが知られています。本講演では、演者らの研究グループでこれまでに取り組んできた衣服圧や、人体と衣服の間の空隙量などに関する数値シミュレーションの事例と、衣服の動作快適性(動きやすさ)などの感性評価に関する取り組みについてご紹介します。

【申込み・問合せ先】会場準備の都合上、事前にお申し込みくださるようお願いいたします。

● FAX 0586 - 45 - 0509 または ● 電子メール owari-kikaku@aichi-inst.jp

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室

〒491-0931 一宮市大和町馬引字宮浦 35 電話 0586-45-7871

《繊維技術セミナー申込書》

2016年7月8日(金)

企業名	所属/氏名	
連絡先	TEL	FAX
	電子メール	
所在地		

ご記入いただきました個人情報は、各種連絡・情報提供のために利用させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

あいち産業科学技術総合センターニュースのメール配信を新規に登録希望の方はチェックしてください。□